

## 競技注意事項

### 1. 競技規則について

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

### 2. 決勝種目について

新人リレーのみ決勝を行い、トラック競技は全てタイムレース決勝、フィールド種目は走高跳、棒高跳を除き3回の試技で行う。

### 3. 競技会場入場制限について

	入場ゲート	競技場	補助競技場	その他
選手	Cゲート	メインスタンド サイドスタンド東側	利用可	応援不可 付き添い不可
競技役員	1Fエントランス	競技役員控室 競技審判場所のみ		
引率責任者・同伴者 (保護者)	Aゲート	バックスタンド サイドスタンド西側	利用不可	応援不可 付き添い不可

### 4. 競技者の招集について

(1) すべて現地招集とし、招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 15 分前	競技開始 10 分前
フィールド競技	競技開始 20 分前	競技開始 15 分前
(棒高跳)	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前

(2) 招集の手順

- ①競技者は招集開始時刻までに現地に集合し点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・規定外シューズ衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- ②招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ③四種競技出場者の招集については、(2)の①に従って同様の点呼を受ける。
- ④競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。〔競技規則第200条10〕
- ⑤リレーオーダー用紙は、兵庫中体連陸上競技部HPからダウンロードし、各校で準備すること。

### 5. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートランキングで掲載されている番号で示す。
- (2) (着順ではなく) 時間を元にして第166条3(b)によるランキングの順位が同じな場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。〔競技規則第167条2〕
- (3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔競技規則第162条5(c)〕
- (4) 混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格させられる。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて失格とする。〔競技規則第162条8〕
- (5) スタートにおける不適切行為は、競技規則第162条5を適用せず注意にとどめる。
- (6) リレー競技のマーカーは最大50mm×400mmのテープを1カ所使うことが許される。〔競技規則第170条4〕
- (7) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。〔競技規則第170条10〕
- (8) リレーチームの編成は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻1時間前までに中央ロビーリレー受付に提出する。ただし、前日に提出してもよい。〔競技規則第170条11〕
- (9) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (10) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (11) フィールド競技のマーカー(主催者が準備したもの、または承認したもの)を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔競技規則第180条3(a)〕
- (12) サークルから行うフィールド競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。〔競技規則第180条3(b)〕
- (13) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。〔競技規則第142条3〕

## 6. ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは個別で行うこと。(新型コロナウイルス感染防止対策)
- (2) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (3) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (4) 競技場周辺での練習(駅伝試走も含む)は禁止する。
- (5) ハードル練習について

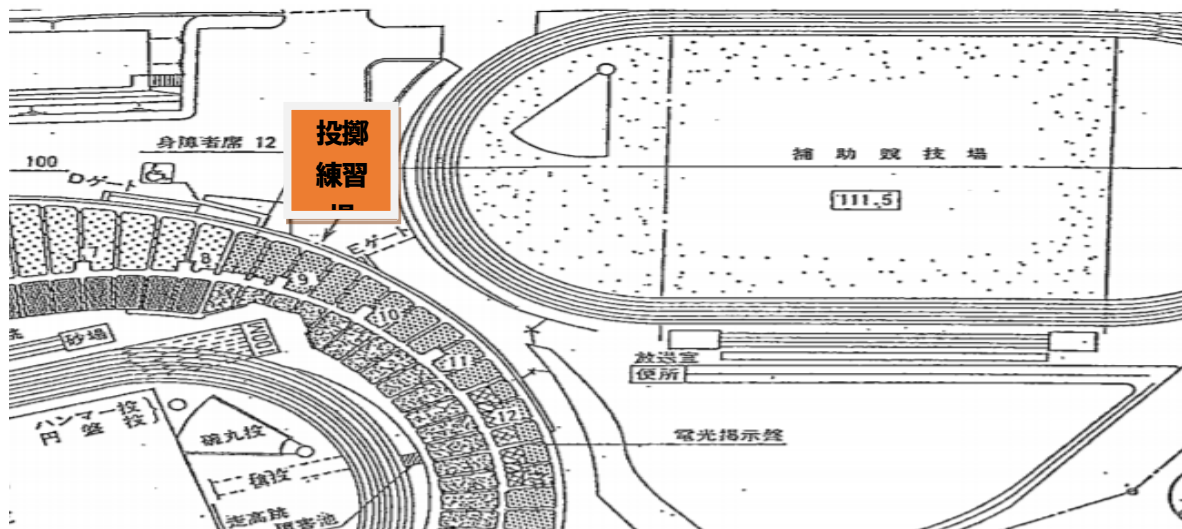
両日とも7:30~8:40までメイン競技場に設置しているものを使用すること。  
 ※各校のハードルの持ち込みは禁止する。

### (6) 投擲練習について

- ①メイン競技場と補助競技場の間に設ける投擲練習場で行い、メディシンボールのみとする。
- ②出場種目ごとに次の決められた時間帯で行うこと。ただし、練習できるのは出場選手に限る。

女子 円盤投	新人	7:45 ~ 8:45	男子 円盤投	新人	8:55 ~ 9:55
	選手権	10:05 ~ 11:05		選手権	8:15 ~ 9:15
女子 砲丸投	新人	7:45 ~ 8:45	男子 砲丸投	新人	8:50 ~ 9:50
	選手権	10:30 ~ 11:30		選手権	7:45 ~ 8:45
男子四種競技 砲丸投			女子四種競技 砲丸投		
9:25 ~ 10:25			11:10 ~ 12:10		

※投げる方向は練習会場係の指示に従うこと。



## 7. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。  
 跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでよい。アスリートビブスは通常はプログラムに記載のものと  
 同じナンバーでなければならない。 [競技規則第143条7]
- (2) 腰ナンバーカード(シールタイプ)は招集場所で受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

## 8. フィールド種目の計測ラインについて

フィールド種目において、参加標準記録に達しない場合は計測しない場合がある。  
 ※計測基準記録は、天候・その他の都合で変更することもある。

## 9. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技			
走高跳	男子(新人戦)	1m45	1m50 ~ 1m70	5 cm ずつ	1m70 以上	3 cm ずつ
	男子(選手権)	1m65	1m70 ~ 1m85	5 cm ずつ	1m85 以上	3 cm ずつ
	女子(新人戦)	1m25	1m30 ~ 1m50	5 cm ずつ	1m50 以上	3 cm ずつ
	女子(選手権)	1m35	1m40 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m55 以上	3 cm ずつ
棒高跳	男子(新人戦)	2m00	2m20 ~ 3m20	20 cm ずつ	3m20 以上	10 cm ずつ
	男子(選手権)	2m80	3m00・3m20		3m20 以上	10 cm ずつ
四種競技 (走高跳)	男子	1m30 1m40	1m35 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m55 以上	3 cm ずつ
	女子	1m10 1m30	1m15 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m45 以上	3 cm ずつ

①走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。

②ジャンプオフ(第1位決定戦)のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmきざみとする。

[競技規則第181条9(d)]

## 10. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。  
また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

## 11. 表彰について

<新人大会>	個	人	各種目1位～3位に表彰状を授与する。
	総	合	今年度は男女とも表彰はおこなわない。
<選手権>	個	人	各種目1位～3位に表彰状を授与する。
	最優秀選手賞		最優秀選手を男女各1名選出し表彰する。

## 12. 競技場使用について

- (1) 競技に参加する選手のみ入場できることとする。応援者は入場できない。
- (2) 選手・役員・引率責任者（保護者）以外は競技場内に立ち入ることはできない。
- (3) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、声を出しての応援は行わないこととする。
- (4) 本部前の通路は、役員以外の通行を一切禁止する。
- (5) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (6) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (7) 選手はメイン・サイドスタンド東側を利用し、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
- (8) 引率責任者・同伴者はバック・サイドスタンド西側のみ利用可。メインスタンドは利用不可とする。
- (9) 選手はできる限り、メインスタンド待機時間を最小限にすることを努めること。競技終了後は引率責任者と共にできるだけ早く帰宅をすること。
- (10) 各席、2席以上空けて待機すること。
- (11) B・Dゲートは封鎖する。

## 13. 競技による入退場について

- (1) 入場は競技の妨げにならないよう、すべてダグアウトを利用し競技場所に行くこと。
- (2) トラック競技を終了した者はバックストレート側ダグアウトを利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。（※役員控室前は通行禁止）その際、競技の妨げにならないようにすること。
- (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。
- (4) 競技者は競技終了後、手指を消毒すること。

## 14. チェックシートについて

競技場に入場する際必ず提出すること。

- |             |                                     |
|-------------|-------------------------------------|
| （競技役員）      | 1Fエントランスの受付に提出すること。                 |
| （選手）        | Cゲート入場時、係に提出すること。                   |
| （引率責任者・同伴者） | Aゲート入場時、受付にて係に提出すること。※ 応援の者は入場できない。 |

## 15. WA規則第143条（TR5：シューズ）の対応について

- ①大会はWA規則第143条（TR5：シューズ）を適応しない。
- ②「規定外」シューズ使用選手については、リザルトへの記載が義務付けられているため、招集場所で申告書を競技役員に提出すること。
- ③招集後以降に使用が確認された場合は参加不可とし、「記録なし」とする場合がある。

## 16. その他

- (1) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (2) 大会規定・申し合わせ事項等については、プログラム記載の競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (3) 競技会当日、午前6：00に神戸市に気象警報（波浪以外）が発令された場合、その日の競技は中止とする。  
なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。
- (4) 本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開閉会式を行わない。
- (5) ABCEF 会議場前通路は役員のみ利用するので通過・入場を認めない。
- (6) 各校ミーティングは行わないこととする。後日各学校で行うこと。
- (7) 競技主催者側でも消毒液を準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (8) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (9) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (10) 選手が競技場内にて携帯電話等電子機器を利用・撮影を行わないこと。
- (11) 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマーシャル係が競技場内を巡視します。注意事項に反している場合、係より注意を行います。従わない場合は競技場より退場していただく場合があります。
- (12) メイン・補助競技場共に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、更衣室の利用を禁止する。

